
1月30日更新、1月26日、公益財団法人古代学協会の方が、遺物の実見のために来館しました。

調査研究課の鶴飼です。

1月26日(木曜日)に公益財団法人古代学協会の鈴木氏が、**西牧野(にしまきの)遺跡(岡崎市)出土の石器を実見するために来館されました。**今回はこの遺跡で出土した**石皿**を観察されました。お話を伺うと、石皿は他の石器に比べて位置の動くことが少なく、周辺の石器の出土状況と合わせて検討すると、当時の人びとの生活を解明する手がかりとなるそうです。



石器の実測風景

西牧野遺跡:岡崎市に所在する、旧石器時代の礫群(れきぐん)や石器が出土した遺跡。旧石器時代以外に縄文時代の竪穴建物(たてあなたても)や、鎌倉時代から室町時代はじめの屋敷跡が確認されました。

石皿:扁平(へんぺい)な石の中央を浅くぼませた石器。磨石(すりいし)・敲石(たたきいし)とセットで、木の実などをすりつぶすのに使いました。

愛知県埋蔵文化財調査センターでは、**展覧会の展示、報告書・論文作成のための資料調査を受け付けています**。実見をご希望の方は、下記の連絡先・担当までお願いします。

愛知県埋蔵文化財調査センター

電 話 0567-67-4164

メールアドレス maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp

担当 調査研究課 佐藤

電話の受付は**平日の9時から17時まで**です。

1月20日更新、大阪府立近つ飛鳥博物館の学芸員の方が、遺物の実見のために来館しました。

調査研究課の鵜飼です。

1月18日(水曜日)に**大阪府立近つ飛鳥博物館**の学芸員の方が、**来年度開催の展覧会に展示予定の遺物を事前調査するために来館されました**。今回は**朝日遺跡(あさひいせき、清須市・名古屋市)**、**廻間遺跡(はさまいせき、清須市)**、**志賀公園遺跡(しがこうえんいせき、名古屋市)**の出土遺物を実見されました。

展覧会については内容や日程が決まり次第、掲示しますので楽しみにしてください。



遺物の観察風景

朝日遺跡:清須市から名古屋市西区にかけて所在する、弥生時代に繁栄した、全国でも有数の集落遺跡。出土遺物のうち、2,000点余りが国の重要文化財に指定されています。

廻間遺跡:清須市の西部に所在する、古墳時代初頭の集落遺跡。発掘調査の結果、前方後方型の墳丘墓(ふんきゅうぼ、弥生時代からこの時代にかけて造られた墓)が発見されました。

志賀公園遺跡:名古屋市北区に所在する、弥生時代から古代にかけての集落遺跡。発掘調査の結果、土器や須恵器(すえき)、古代の木簡など多くの遺物が出土しました。

愛知県埋蔵文化財調査センターでは、**展覧会の展示、報告書・論文作成のための資料調査を受け付けています**。実見をご希望の方は、**下記の連絡先・担当までお願いします**。

愛知県埋蔵文化財調査センター

電話 0567-67-4164

メールアドレス maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp

担当 調査研究課 佐藤

電話の受付は平日の9時から17時までです。

1月20日更新 愛知県陶磁美術館の学芸員の方が、遺物の実見のために来館しました。

調査研究課の鶴飼です。

1月6日(金曜日)に愛知県陶磁美術館の学芸員の方が、来年度開催の展覧会に展示予定の遺物を実見・写真撮影するために来館されました。写真撮影の際は周囲を暗くして、遺物の特徴が写るよう念入りに作業してみえました。展覧会については内容や日程が決まり次第、掲示しますので楽しみにしてください。



写真撮影の様子

愛知県埋蔵文化財調査センターでは、展覧会の展示、報告書・論文作成のための資料調査を受け付けています。実見をご希望の方は、下記の連絡先・担当までお願いします。

愛知県埋蔵文化財調査センター

電 話 0567-67-4164

メールアドレス maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp

担当 調査研究課 佐藤

電話の受付は平日の9時から17時までです。

12月28日更新 中京大学文学部の学生が施設見学に来館しました。

調査研究課の鶉飼です。

12月27日に中京大学文学部歴史文化学科の学生17名が、当調査センターに施設見学のために来館しました。

はじめに職員から**発掘調査の目的と、調査センターが果たす役割について説明しました**。埋蔵文化財が文化財保護法で保護されていることや、遺跡を破壊せざるを得ない場合に発掘調査を行うことを職員が説明すると、学生たちは真剣なまなざしで聞いていました。**講義の後は館内の各施設の見学を行い**、遺物整理室、資料管理閲覧室、収蔵庫などを見て回りました。



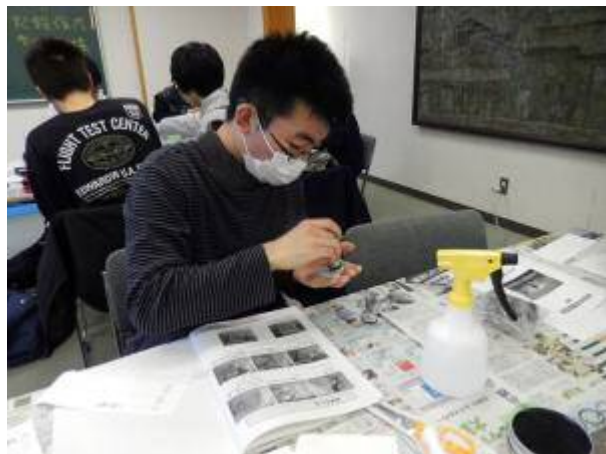
遺物を手に取っての講義

後半は、弥生時代の大規模集落として知られる朝日遺跡(あさひいせき)から出土した遺物に直接触れ、観察する体験をしました。職員が円窓付土器(まるまどつきどき)や赤彩土器(せきさいどき)の特徴を説明し、学生たちは土器の感触を直に感じながら、土器の使用方法について熱心に語り合っていました。



土器に触れる

遺物に触れた後は、**拓本の実習を行いました**。職員から拓本の取り方について説明を受けたあと、実演に移りました。学生たちははじめ慣れない手つきでしたが、**次第に上達していく様子が手に取るようにわかりました**。最後に所長があいさつを述べ施設見学を終えましたが、**終了後も学生が職員に質問をしていたのが印象的でした**。



拓本体験

当センターでは**埋蔵文化財に関する研修会や講演会で発表の依頼を受け付けております**。ご希望する団体、組織の方は下記の連絡先にご連絡ください。

愛知県埋蔵文化財調査センター 電話 0567-67-4164

メールアドレス maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp

担当 調査研究課 佐藤

電話の受付は平日の9時から17時までです。

朝日遺跡(あさひいせき) 清須市から名古屋市にかけて所在する、弥生時代の東海地方最大の集落遺跡。

円窓付土器(まるまどつきどき) 焼成する前に、胴部中央に丸く穴をあけた壺型の土器。朝日遺跡を中心とした尾張地方で見られる。

赤彩土器(せきさいどき) 土器の口縁や胴部に赤い顔料を塗った土器。

12月8日更新 「あいちの考古学2016」で当センターの職員がプレゼンテーションを行いました。

11月26日、名古屋市博物館で行われた公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センターなどが主催する「あいちの考古学2016」で当センターの職員が普及・公開活動についてのプレゼンテーションを行いました。当日は県内外から集まった約200名の考古学ファンが訪れました。プレゼンテーションでは当センターが小中高校及び大学で行っているアクティブラーニングを取り入れた出前授業・中学生の「職場体験」・高校生対象の「高校生の考古学サマーセミナー」などの取組を紹介しました。



発表する当センター職員

プレゼンテーションの様子

当センターでは埋蔵文化財に関する研修会や講演会で発表の依頼を受け付けております。ご希望する団体、組織の方は下記の連絡先にご連絡ください。

愛知県埋蔵文化財調査センター 電話 0567-67-4164

メールアドレス maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp

担当 調査研究課 佐藤

電話の受付は平日の9時から17時までです。

12月7日更新 朝日遺跡出土遺物の資料調査のため、研究者が来館されました。

調査研究課の鶴飼です。

今回は2名の研究者が来館されています。

首都大学東京の白石哲也さんは、**鳥形土器の資料調査**のため来館されました。鳥形土器は鳥の胴部をかたどり、頭部にあたる部分は注口(ちゅうこう)の形をした土器です。朝日遺跡では主に居住域周辺から、弥生時代中期から後期にかけての土器とともに出土しています。白石さんは作り方などを1点ずつ丁寧に観察していました。

また九州大学のブライアン・パジェットさんが、**朝日遺跡から出土した人骨の資料調査**のため来館されました。ブライアンさんは**骨の変形の有無を観察し、変形した原因について検討**されていました。



鳥形土器の観察



朝日遺跡出土人骨の観察

愛知県埋蔵文化財調査センターでは、報告書・論文作成のための資料調査を受け付けています。実見をご希望の方は、下記の連絡先・担当までお願いします。

愛知県埋蔵文化財調査センター 電話 0567-67-4164

メールアドレス maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp

担当 調査研究課 佐藤

電話の受付は平日の9時から17時までです。

朝日遺跡(清須市・名古屋市):愛知県の弥生時代を代表する大規模な集落遺跡です。発掘調査の結果、土器をはじめ木製品・石器・骨角器(こっかくき)など多くの遺物が出土しており、このうち2,000点余りが国の重要文化財に指定されています。

骨角器:シカやイノシシなど、動物の骨を加工した道具です。モリや釣針、やじりなどの狩猟・漁撈(ぎょろう)具、かんざしや腕輪など装飾品などの材料として用いられました。

12月5日更新 「きんてつハイキング」で多くの方が当センターを訪れました。

11月27日、弥富市内で「きんてつハイキング」が実施され、当センターがコースに選定されました。当日は生憎の雨模様でしたが、56名もの方々が、縄文時代から江戸時代までの出土遺物をみて昔の人たちの暮らしに思いを馳せていました。

当センターでは過去の発掘調査で出土した遺物の一部を展示公開しております。開館日時は平日の9時より17時までです。近くにお立ち寄りの際は是非ともお出でください。受付は2階となっております。

11月30日更新 長野県文化振興財団長野県埋蔵文化財センターの研究員が資料調査のために当センターを訪れました。

11月28日、長野県埋蔵文化財センターの研究員の方、3名が資料調査のために当センターを訪れました。調査の目的は、長野県埋蔵文化財センターが平成27年度に発掘調査を実施した浅川(あさかわ)扇状地遺跡群で出土した、弥生時代から古墳時代にかけての土器と、愛知県の遺跡から出土した土器の比較です。浅川扇状地遺跡群から出土した土器の中には文様や形が長野県内ではみられない土器であるため、朝日遺跡や勝川遺跡から出土した同時代の土器と比較検討を行いました。検討の結果、浅川扇状地遺跡群から出土した土器は東海地方の影響を強くうけたものであることが判明しました。



資料調査

当センターは研究、報告書作成のための資料調査のための出土遺物の実見を受け入れております。ご希望の方は下記の連絡先、担当に連絡ください。

愛知県埋蔵文化財調査センター 電話 0567-67-4164

メールアドレス maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp

担当 調査研究課 佐藤

電話の受付は平日の9時から17時までです。

浅川(あさかわ)扇状地遺跡群:長野県北部、長野市の北西部に位置する扇状地に展開する遺跡群。弥生時代から近世までの遺構、遺物が検出、出土されている。

朝日遺跡:清須市から名古屋市にまたがる日本有数の弥生時代の大集落遺跡。

勝川遺跡:春日井市に所在する弥生時代から古代、近世の遺跡。

11月30日更新 弥富市史料部の方々が愛知県埋蔵文化財調査センターの施設を見学に訪れました。

11月26日、弥富市史料部一行21名の方々が施設見学に訪れました。

弥富市史料部は市内の史跡や歴史などを学ぶ同好の方の集まりです。

初めに、職員から埋蔵文化財についての解説がありました。弥富市内の遺跡についての説明では多くの方が熱心にメモを取っておられました。



弥富市内の遺跡を説明する職員

次は**施設見学**です。第一次遺物整理室で**土器の接合と実測の説明**を聞くと、細かい作業に驚きながらも感心しておられました。二階の遺物展示では出土遺物の解説を熱心に聴き入っておられました。特に**資料管理閲覧室にある朝日遺跡出土の人骨の展示**に関心を持たれたようでした。三階では収蔵庫Dに収納されている1万4千箱を超える出土遺物のコンテナをみて、その多さに溜息を漏らし、報告書に記載がある遺物は全て番号が付けられた所定のコンテナに収納されていることを聞いて感心されていました。

最後は**出土した遺物に触れる体験**です。用意されたのは**朝日遺跡から出土した円窓付土器(まるまどつきどき)や赤彩土器(せきさいどき)等の弥生土器**です。職員から土器に触れる際の注意点の説明を受けたあとに、通常はガラス越しにしか見ることができない土器を、最初は恐る恐る触れておりましたが、職員に促されて興味深く持ち上げたりしておられました。**円窓付土器の軽さに驚き、反対に赤彩土器の重量感を体感されてい**ました。



土器に触れる

予定していた時間はアツという間に過ぎてしまい、終了の時間を向かえ参加された方々は**4月初めに予定されている「春の特別公開」**に期待を寄せて当センターを後にされました。

愛知県埋蔵文化財調査センターでは随時、団体の施設見学を受けて付けています。ご希望の団体の代表の方は下記の連絡先、担当にご連絡ください。

愛知県埋蔵文化財調査センター 電話 0567-67-4164

メールアドレス maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp

担当 調査研究課 佐藤

電話の受付は平日の9時から17時までです。

朝日遺跡：清須市から名古屋市にまたがる日本有数の弥生時代の集落遺跡

円窓付土器(まるまどつきどき): 朝日遺跡を中心とした濃尾平野に特徴的にみられる弥生時代の土器で、土器を焼く前から胴部の上位に丸く穴があけられ、白っぽい土を用いて仕上げも丁寧に作られている。使用方法については不明である。

赤彩土器(せきさいどき): 濃尾平野でみられる特徴的な弥生時代の土器で、白っぽい土の土器にベンガラ(鉄分を主とした鉱物)を使い赤く彩られ、極めて赤色が際立つものになっている。

11月18日更新 愛知黎明高校のオープン講座に参加しました。

11月13日(日曜日)、愛知黎明高校のオープン講座に参加しました。

当日は黎明高校の生徒、保護者、中学生、近隣の住民の方々に学校を開放し、お菓子作り、介護教室、防災教室、ガラス細工等の様々な講座が開かれ、**その中に考古学講座として参加しました。**今回が初めての参加で、どんな講座になるか、期待に胸を膨らませての参加です。

講座には、黎明高校の生徒5名と一般3名の方が参加しました。

初めに所長の挨拶と講師の紹介の後、**東海地方、最大の弥生時代の集落遺跡である朝日遺跡**の概要を説明しました。受講者の中には熱心にメモを取る方も見受けられました。



朝日遺跡の概要説明

次は朝日遺跡から出土した土器に触れる体験です。受講者にはあらかじめこの土器はどのように使われたか、という問題が与えられました。丸窓付土器(まるまどつきどき)、赤彩土器(せきさいどき)などを間近に見たり触れたり持ったりして、窓が付いている意味や赤く塗られた意味を通常の土器と比べて考えていました。講師が受講者に回答を聞くと、「丸窓付土器は太鼓に使った」など、ユニークな回答が続出し、受講者は各々、朝日遺跡の人たちがこれらの土器を使う姿を想像しながら熱く自論を語り合っていました。



土器に触れる体験



弥生時代を体感！

最後は火起こし体験です。舞錐式(まいきりしき)の火起こし器を使ってのチャレンジです。諸注意の後、各自、火起こしに励みました。受講生全員、煙が出るまでは成功し、高校生はさらに火種になるまでにチャレンジしていましたが、残念ながらタイムアップ「次は火種までにやってみる」と再挑戦を約束してオープン講座は終了しました。



舞錐式火起こし器

当愛知県埋蔵文化財調査センターでは出張して土器に触れる体験などの様々な体験や講義を行う講座を実施しております。希望する組織、団体の方は下記の住所に連絡をしてください。講座内容や日程などをご相談申し上げます。但し電話の受付は平日の9時から17時までとなっております。(土日、祝日は休館)

愛知県埋蔵文化財調査センター 電話0567-67-4164

メールアドレス maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp

担当 調査研究課 佐藤